

令和7年度第2回循環器病対策推進に関する小委員会

(心血管疾患関連)

- 日 時 令和8年2月24日(火) 午後1時30分～午後2時20分
- 開催方法 オンライン開催
- 出席者 16人
吉川委員長、加藤克・加藤達・吉田・宮崎・畑野各委員
オブザーバー：鳥取大学医学部循環器・内分泌代謝内科学 波多野教授

(脳血管疾患関連)

- 日 時 令和8年2月24日(火) 午後3時～午後3時40分
- 開催方法 オンライン開催
- 出席者 17人
黒崎委員長、坂本・瀧川・阪田・田淵・紙谷・竹内・伊坂各委員
- 共通出席者 県健康政策課：大谷参事、角田課長、北根課長補佐、田中保健師
健康対策協議会事務局：岡本事務局長、田中尚・田中貴両係長
岩垣主任、廣瀬主事

報告事項

1. 鳥取県循環器病対策推進計画（第二次）の数値目標について：角田県健康政策課長

令和4年度の健康寿命（3年ごと公表）は、令和元年度から男性は1.31年延び72.89年（全国17位）、女性は0.23年延び74.97年（全国39位）に延伸した。

※詳細は令和8年2月19日(木)開催の循環器疾患等部会記録を参照。

(参考) 令和6年度特定健診結果からみた各状況について

- ・ 血圧治療者でも降圧目標より高い者が7割ある。
- ・ 収縮期血圧160mmHg以上であっても未治療者の者が4～5%存在する。
- ・ 脂質治療者は被用者保険では1割、国保および後期高齢者で3割程度存在する。
- ・ 脂質未治療者の中には受診勧奨判定の者が2～

3割存在する。

2. 健康寿命延伸のための調査分析事業について（中間報告）：大谷県健康政策課参事

協会けんぽおよび国保連合会から令和5年度特定健診データの提供を受け、分析した結果の中間報告があった。今後、県ホームページで結果の概要を公開予定である。

※詳細は令和8年2月19日(木)開催の循環器疾患等部会記録を参照。

3. 令和7年度鳥取県循環器病対策推進事業実績について：北根県健康政策課長補佐

鳥取県循環器病対策推進に関する小委員会を2回、若年者心臓検診対策専門委員会を1回開催した。また、脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業として鳥取大学へ委託し、センターの運営、医療機関との連携、心疾患遠隔リハビリテーション、研修会の実施、県民への普及啓発などを実施した。

委員より以下の発言があった。

- ・「脳卒中・心臓病等総合支援センター」の相談件数が伸び悩んでいる。(黒崎委員長)
- ・普及啓発を目的に「健康ハートの日2025ライトアップ」で心臓に関連して米子城跡を赤にライトアップしたところ、赤は好ましくないのではと苦情があった。(黒崎委員長)
- ・令和7年10月より脳卒中患者の発症から集中的にケアを行う専門病床「脳卒中ケアユニット(SCU)」を3床開設した。4月からは6床で運用予定である。(坂本委員)

協議事項

1. 令和8年度県予算事業の実施方針について：

北根課長補佐より説明

前年度と同様に健対協および鳥取大学医学部附属病院への委託による事業実施を予定している。医療機器等の整備にあたり予算額は102万円増の9,862千円となっている。

※詳細は令和8年2月19日(木)開催の循環器疾患等部会記録を参照。

2. 県民向け講演会及び多職種連携従事者研修会の実施方針について：

田中県健康政策課保健師

○一般県民向け講演会

令和7年10月12日(日)に日本心不全学会の県民公開講座として米子コンベンションセンター及びオンデマンド配信形式にて開催した。当日参加者は280人だった。後日配信者は56人だった(現在も閲覧可能)。受講者アンケートでは好評の意見が多かったが、次年度テーマとして脳梗塞や頭痛の異変、認知症など脳に関する講演をしてほしいとの要望があり、脳と心疾患をバランス良く取り

入れた内容を検討していくこととした。

○多職種連携を目的とした従事者研修会(医療従事者向け)

令和8年2月14日(土)オンラインで開催した。当日視聴は30人だった。後日配信を予定しており市町村や医師会を通じて周知する。

委員より以下の意見があった。

- ・各地区持ち回りで開催しているが中部では循環器内科医が少なく講師の人選に苦慮している。東西部の先生に講師をお願いできないか。(宮崎委員)
- ・大動脈弁狭窄症の弁測定に際し、各地区で技術の統一を目的に研修会を開催してはどうか。(加藤達委員)

→技師が中心となって活動している会有一些ある。

この研修会の中でするのか別事業でするのか、Web形式か参集形式かも含めて検討していく。

3. その他

- ・テルモ株式会社との連携協定の締結について：田中県健康政策課保健師

※詳細は令和8年2月19日(木)開催の循環器疾患等部会記録を参照。

テルモより、学校などの教育現場で脳卒中関連の講演会などでバックアップできたらとの声があった。(坂本委員)

- ・委員について

循環器内科教授に波多野先生が1月より着任された。令和8年4月から心血管疾患関連小委員会委員に就任していただくことをご了承願いたい。(吉川委員長)